


武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	妊婦健康診査事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 1 健康づくり		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども子育て支援 課	母子保健 係 内線 621
	根拠法令等	母子保健法		
目的	妊婦の健康管理を支援し、妊産婦及び乳幼児の死亡率低下、障害発生の予防を図ることを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	妊婦を対象として、14回分の妊婦健康診査を受診するための受診票を交付する。健康診査の内容は、基本項目（健康状態の把握、検査計測など）及び必要に応じて行う医学的検査（血液検査、超音波検査など）である。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	妊婦健康診査（1回から14回まで、子宮頸がん検診、超音波検査及び新生児聴覚検査）の延べ受診者数	人
実績	5,936	5,798				
達成率	83%	87%				
2	—	—	目標	—	—	—
実績				—	—	
達成率				—	—	

事業経費				令和2年度決算			令和3年度決算			令和4年度予算		
事業費（千円）				33,556			32,506			36,423		
財源内訳	一般財源			1,556			689			7,423		
	国都支出金			0			0			0		
	その他			32,000			31,817			29,000		
会計年度任用職員以外の職員（千円）				1,624			1,596			1,529		
人件費	所要人員（人）			0.20			0.20			0.20		
	会計年度任用職員（千円）			129			135			144		
	所要人員（人）			0.10			0.10			0.10		
合計（事業費+人件費）				35,309			34,237			38,096		

市民・議会等から寄せられた意見


平成29年第2回市議会定例会において、新生児聴覚検査費用の公費助成について要望があった。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
居住する区市町村以外に所在する医療機関で健康診査が受けられるよう、毎年度、代表団体が東京都医師会と委託契約を締結している。 令和3年度の受診者数は、延べ5,798人であった。	妊娠届出数は予測が難しいため、目標と実績にかい離が生じている。 特に、令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、妊娠届出数が減少している（令和元年度：484人、令和2年度：407人、令和3年度：394人）。

令和4年度の方針																									
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																									
本事業は、母子保健法第13条に規定する健康診査であり、健康診査の内容は、「妊婦に対する健康診査についての望ましい基準（平成27年厚生労働省告示第226号）」に定められており、本市の事業はこの基準に基づき実施している。 また、令和元年度から当該基準にない新生児聴覚検査費用の公費助成を実施しているが、当該検査は、聴覚異常を早期に発見することにより、専門の施設での適切な支援につなぐことができるため、今後とも継続する必要があると考える。																									
		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="4">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="4">コスト</th> </tr> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		今後の方針				コスト					削減	維持	増加	成果	向上			維持		○	低下		
今後の方針																									
コスト																									
	削減	維持	増加																						
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
（廃止・休止・終了の場合は記入不要）																									

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	歯周疾患検診事業				
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 1 健康づくり				
	所管部署	健康福祉 部	健康推進 課	健康推進 係	内線	212
	根拠法令等	健康増進法				
目的	歯を失う大きな原因となっている歯周病の予防と早期発見を推進し、高齢期において健康で快適な生活が送れるように支援する。				SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	対象者：40歳以上の市民 検診内容：問診、歯科健診、歯周ポケット測定、結果説明等（65歳以上の方には、口の乾燥状態、舌の動き、飲み込み等の検査も実施）					

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
				1	歯周疾患検診受診者数	人	目標	400	400	450
							実績	407	446	
達成率	102%	112%								
2	歯周疾患検診要精検者数	人	目標	-	-	-				
			実績	285	329					
			達成率	-	-					


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見 歯科医師会から計画人員を増員してほしいという要望があった。
事業費（千円）		2,702	2,973	2,970	
財源内訳	一般財源	1,658	1,952	1,460	
	国都支出金	815	723	1,510	
	その他	229	298	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	2,029	1,994	1,911	
	所要人員（人）	0.25	0.25	0.25	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		4,731	4,967	4,881	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
受診期間：令和3年6月1日～11月30日 対象者：40歳以上の市民（令和3年度中に40歳となる方を含む） 検診内容：問診・歯科健診・歯周ポケット測定・結果説明等 65歳以上の方には、口の乾燥状態、舌の動き、飲み込み等の検査 指定歯科医療機関：18歯科医療機関 ※市報、市ホームページのほか公共施設、医療機関等でポスターを掲示し、本事業を周知した。	受診期間終了前に計画人員を超えてしまい、希望者全員が受診できない状況である。歯科医師会からも計画人員を増員してほしいという要望があった。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 歯周疾患検診は疾病の発見のみならず、検診の実施により自己管理能力を高揚させ、実践へ結び付けることにより、豊かな高齢期を迎えることを目的としている。さらに、生活習慣の改善を行うことが発症予防及び重症化予防を進める上で重要であることから、現状の体制を継続して実施していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> （廃止・休止・終了の場合は記入不要）			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	休日診療等事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 2 医療・救急		
	所管部署	健康福祉 部	健康推進 課	健康推進 係 内線 212
	根拠法令等	医療法、東京都保健医療計画		
	目的	日曜、祝日、年末年始において症状に応じた適切な医療が受けられる体制を確保するため、入院を必要としない軽症患者に対する初期（一次）救急を実施することにより、市民が安心して治療が受けられるように努める。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 
内容	①休日診療：日曜、祝日、年末年始に実施（午前9時から午前11時30分まで、午後1時から午後4時まで） ②休日準夜診療：日曜、祝日に実施（午後5時30分から午後8時30分まで） 実施場所：①②ともに保健相談センター			

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	休日急患診療受診者数	人	目標	—	—	—
				実績	199	248	
達成率				—	—		
2	休日準夜診療受診者数	人	目標	—	—	—	
			実績	45	41		
			達成率	—	—		


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		24,019	23,725	23,940	
財源内訳	一般財源	18,570	18,314	18,312	
	国都支出金	5,449	5,411	5,628	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	82	80	77	
	所要人員（人）	0.01	0.01	0.01	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		24,101	23,805	24,017	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
効果性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効果性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
効果性	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
効果性	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
新型コロナウイルス感染症対応のため、受診前にかしめ電話で相談することを周知している。当初は、PCR等検査を実施していなかったため、発熱患者を診ることが困難であったが、12月より抗原検査を実施できる体制を整えた。 休日急患診療受診者数：248人 休日準夜診療受診者数：41人	休日診療から休日準夜診療まで通して診療を行うため、医師等への負担が大きい。 しかし、休日準夜診療を廃止すると、急病患者が迅速に治療を受けることができないほか、入院を必要とする急病患者（一次救急）が、二次救急指定医療機関を受診することにより、入院を要する中等症及び重症の患者（二次救急）が医療機関で迅速な治療を受けられず、本来実施すべき二次救急診療を圧迫するおそれがある。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 休日等において、新型コロナウイルス感染症をはじめ、急病患者が迅速に受診できる医療機関が必要であることから、現状の体制を継続して実施していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> （廃止・休止・終了の場合は記入不要）			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	休日歯科診療事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 2 医療・救急		
	所管部署	健康福祉 部	健康推進 課	健康推進 係 内線 212
	根拠法令等	医療法、東京都保健医療計画		
目的	日曜、年末年始における急病患者において、休日歯科診療を実施することにより、市民が安心して治療が受けられるように努める。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	休日歯科診療：日曜、年末年始に実施（午前9時から午前11時30分まで、午後1時から午後4時まで） 実施場所：歯科医師会加入の医療機関1か所持ち回りによる輪番制			

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	休日歯科診療受診者数	人	目標	—	—	—
				実績	167	167	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		7,804	7,905	7,929	
財源内訳	一般財源	6,024	6,150	6,148	
	国都支出金	1,780	1,755	1,781	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	82	80	77	
	所要人員（人）	0.01	0.01	0.01	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		7,886	7,985	8,006	

視点別の分析	妥当性	市民との協働により事業を実施しているか		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	<input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい <input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当	
	<input type="checkbox"/> 民間委託等は可能か <input type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	
	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
日曜、年末年始に休日歯科診療を歯科医師会加入の医療機関1か所持ち回りによる輪番制で実施した。 休日歯科診療受診者数：167人	休日歯科診療受診者数は横ばいであるが、日曜・年末年始に休日歯科診療を廃止すると、急病患者が迅速に治療を受けることができない。平成22年度から平成24年度にかけて、休日歯科診療体制の見直し等を行い、輪番制の導入や経費の削減を行っている。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 休日において、急病患者が迅速に受診できる歯科医療機関が必要であることから、現状の体制を継続して実施していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	公的病院等運営費補助事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 2 医療・救急		
	所管部署	健康福祉 部	健康推進 課	健康推進 係 内線 212
	根拠法令等	武蔵村山市公的病院等運営費補助金交付要綱		
	目的	救急医療を実施している公的病院等に対して、運営費の一部を補助することにより、救急医療の確保及び地域医療の充実を図る。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を
内容	特別交付税に関する省令の規定により算定された額（救急告示病院としての病床数、小児救急医療、小児医療のための病床数）を基準とし、予算の範囲内において運営費の一部を補助する。			
対象（交付先）	社会医療法人財団大和会武蔵村山病院			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	救急医療を要する傷病者のための専用病床数	床
			実績	30	30	
			達成率	—	—	
2	小児医療のための専用病床数	床	目標	—	—	—
			実績	24	24	
			達成率	—	—	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額（千円）	49,345	49,252	53,194		—
一般財源	49,345	49,252	53,194		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	82	80	77	他市等の状況 近隣市においても公的病院等に対して、運営費の補助をしている。
	所要人員（人）	0.01	0.01	0.01	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	49,427	49,332	53,271		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
収入	総額（千円）	0	0	0	交付金額（千円） 49,252
	市補助金	—	—	—	使途内訳
	会費	—	—	—	
	繰越金	—	—	—	
	事業収入	—	—	—	
その他	—	—	—		
支出	総額（千円）	0	0	0	割合（%）
	交際費、飲食費	—	—	—	
	人件費	—	—	—	
	事業経費	—	—	—	
	その他	—	—	—	
団体収入に占める補助金の割合		—			
団体収入に占める繰越金の割合		—			
交付金額に対する繰越金の割合		—			

視点別の分析	内容	評価		
		必要である	見直しの余地がある	非該当
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
有効性	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効率性	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効果率	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
武蔵村山病院において、救急医療の確保及び地域医療の充実を図るため、小児救急診療事業及び救急医療事業を実施した。	特別交付税に関する省令に基づく不採算地区公的病院等に対して、運営費の一部を補助するものであるが、新型コロナウイルス感染症対応等で病院の負担は増加している。

令和4年度の方針

【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了				
市民の小児救急及び救急医療の需要に対応し、市民の生命及び健康を守る必要があることから、今後も継続して病院の運営費を補助していく。				
成果	今後の方針			
	コスト			
		削減	維持	増加
	向上			
維持		○		
低下				

（廃止・休止・終了の場合は記入不要）

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度		
	所管部署	市民部	保険年金課	後期・年金係 内線 135
	根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律		
目的	複数の疾患及びフレイル状態に陥りやすい高齢者に対し、高齢者一人一人の状況に応じたきめ細かな対応を効果的かつ効率的に行うため、東京都後期高齢者医療広域連合（以下「広域連合」という。）と市が連携し、介護保険の地域支援事業及び国民健康保険の保健事業を一体的に実施する「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」（以下「一体的実施」という。）事業を実施する。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を		
内容	保険年金課では、ハイリスクアプローチ（個別的支援）として、糖尿病性腎症及び糖尿病の後期高齢者を対象に、かかりつけ医等の医療機関と連携し、糖尿病性腎症等の重症化予防に必要な保健指導及び医療機関への受診勧奨を実施することで、糖尿病性腎症等の重症化及び糖尿病の合併症を予防するものである。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	事業の実施	—
2	重症化予防保健指導（目標10人）、未治療者への受診勧奨（目標35人）及び治療中断者への受診勧奨（目標100人）の合計人数	人	目標	—	—	145
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費				令和2年度決算		令和3年度決算		令和4年度予算	
事業費（千円）	財源内訳			0	0	0	0	2,333	2,333
	一般財源			-	-	-	-	2,333	2,333
	国都支出金			-	-	-	-	0	0
	その他			-	-	-	-	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）			4,221	11,007	10,775			
	所要人員（人）			0.52	1.38	1.41			
	会計年度任用職員（千円）			0	0	0			
	所要人員（人）			0.00	0.00	0.00			
合計（事業費+人件費）				4,221	11,007	13,108			

市民・議会等から寄せられた意見


—

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	<input type="checkbox"/> 適合している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	<input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
有効性	<input type="checkbox"/> 廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい <input type="checkbox"/> 影響は少ない <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	<input type="checkbox"/> 受益者負担は適切か <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託等は可能か <input type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	<input type="checkbox"/> 事業費の更なる削減は可能か <input type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	<input type="checkbox"/> 類似事業等との統合は可能か <input type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度は、以下の取組を実施した。 ●糖尿病性腎症等重症化予防事業を令和4年度当初予算に計上 ●事業実施に向けた三師会との調整 ●広域連合との受託契約に必要な、一体的実施に係る基本的な方針を策定 ●保健指導を行う委託業者を確定	令和4年度は事業実施の初年度であるため、東京都後期高齢者医療広域連合及び受託業者等と連携し、円滑な事業運営に努める必要がある。

令和4年度の方針																				
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	令和2年4月1日に施行された「医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律」には、東京都後期高齢者医療広域連合との連携のもと、市区町村が中心となって高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施を推進するための体制の整備等に関する規定が盛り込まれた。また、厚生労働省作成の健康寿命延伸プランにおいて、令和6年度までに全市区町村にて実施する方針が示されたことから、令和4年度から本事業を実施する。 令和元年度から実施に向けた検討を進め、糖尿病性腎症等の重症化予防を実施することになったが、事業開始の初年度である令和4年度の結果を踏まえて、見直しを行い、必要な措置を講じる必要がある。																			
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	成果	今後の方針			削減	維持	増加	向上			○	維持				低下				(廃止・休止・終了の場合は記入不要)
成果		今後の方針																		
	削減	維持	増加																	
向上			○																	
維持																				
低下																				

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度		
	所管部署	健康福祉 部	高齢福祉 課	地域包括ケア 係 内線 632
	根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律 高齢者の医療の確保に関する法律に基づく高齢者保健事業の実施等に関する指針		
	目的	高齢者が自らの健康状態に関心を持ち、介護予防・フレイル予防の重要性を理解することで、住み慣れた地域で、持続的に自立した生活を営みながら、継続的に社会参加のできる地域づくりを行い、もって健康寿命の延伸を図ることを目的とする。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 	
内容	「お互いさまサロンの参加者に対する集団支援（ポピュレーションアプローチ）」に係る事業として、日常生活圏域ごとに1か所、計4か所の通いの場において、口腔と栄養に係る一体的な健康教室・相談事業（歯つらつ教室事業）、フレイルチェック会事業、個別相談支援事業等を行う。			

事務事業の実施状況	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1	初回から終了までの継続参加者の割合	%	目標	—	—	100	
				実績	—	—		
				達成率	—	—		
	2	事業の前後で口腔機能が変化した人数（維持・改善）の割合	%	目標	—	—	100	
				実績	—	—		
				達成率	—	—		
	事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見		
	事業費（千円）		0	0	714	—		
	財源内訳	一般財源	-	-	0			
国都支出金		-	-	0				
その他		-	-	714				
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	479	612				
	所要人員（人）	0.00	0.06	0.08				
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0				
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00				
合計（事業費+人件費）		0	479	1,326				

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

所管課の評価	令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
	令和4年度新規事業であるため、令和3年度は実績なし。	<ul style="list-style-type: none"> ●対象となる通いの場の拡大 ●「口腔」と「栄養」に係る事業プログラムの検討

所管課の評価	令和4年度の方針				
	【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了
	本事業は、高齢者の医療の確保に関する法律第125条の2第1項に規定するものであり、令和4年度は事業開始年度となるため、計画どおり事業を実施し、事業年度の終了時に実績や成果の評価及び課題の分析を行い、次年度に向けた当該事業の方向性の検討等を行う。				
	今後の方針				
	コスト				
成果	向上			○	
	維持				
	低下				
（廃止・休止・終了の場合は記入不要）					

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度		
	所管部署	健康福祉 部	健康推進 課	健康推進 係 内線 212
	根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律 高齢者の医療の確保に関する法律に基づく高齢者保健事業の実施等に関する指針		
	目的	高齢者が自らの健康状態に関心を持ち、介護予防・フレイル予防の重要性を理解することで、住み慣れた地域で、持続的に自立した生活を営みながら、継続的に社会参加のできる地域づくりを行い、もって健康寿命の延伸を図ることを目的とする。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	「お互いさまサロンの参加者に対する集団支援（ポピュレーションアプローチ）」に係る事業として、日常生活圏域ごとに1か所、計4か所の通いの場において、口腔と栄養に係る一体的な健康教室・相談事業（歯つらつ教室事業）、フレイルチェック会事業、個別相談支援事業等を行う。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	初回から終了までの継続参加者の割合	%	目標	—	—	100
				実績	—	—	
達成率				—	—		
2	事業の前後で口腔機能が変化した人数（維持・改善）の割合	%	目標	—	—	100	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見				
事業費（千円）		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	—			
財源内訳	一般財源	0	0	0				
	国都支出金	-	-	-				
	その他	-	-	-				
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	0	994				
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.13				
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0				
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00				
合計（事業費+人件費）		0	0	994				

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性 <td rowspan="2">市民のニーズに適合しているか</td> <td><input type="checkbox"/> 適合している</td> <td><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 非該当</td>	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性 <td rowspan="3">廃止・休止した場合の市民への影響</td> <td><input type="checkbox"/> 影響は大きい</td> <td><input type="checkbox"/> 影響は少ない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 非該当</td>	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
効果性 <td rowspan="3">民間委託等は可能か</td> <td><input type="checkbox"/> 困難である</td> <td><input type="checkbox"/> 検討の余地がある</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 非該当</td>	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度新規事業であるため、令和3年度の実績なし。	<ul style="list-style-type: none"> ●対象となる通いの場の拡大 ●「口腔」と「栄養」に係る事業プログラムの検討

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し																					
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
本事業は、高齢者の医療の確保に関する法律第125条の2第1項に規定するものであり、令和4年度は事業開始年度となるため、計画どおり事業を実施し、事業年度の終了時に実績や成果の評価及び課題の分析を行い、次年度に向けた当該事業の方向性の検討等を行う。																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>				今後の方針			コスト			成果	向上			○	維持				低下			
		今後の方針																						
		コスト																						
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							
（廃止・休止・終了の場合は記入不要）																								

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	医療費適正化事業			
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度			
	所管部署	市民部	保険年金課	医療費適正化係	内線 138
	根拠法令等	国民健康保険法			
	目的	健康課題に基づく個別の保健事業を推進することで、国民健康保険被保険者の健康増進、メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病の発症や重症化予防等を図ることを目的とする。			SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を
内容	本市の健康課題に対応した個別の保健事業を実施する。保健事業は以下のとおりである。 ①生活習慣病治療中断者受診勧奨事業、②糖尿病性腎症重症化予防・受診行動適正化事業、③ジェネリック医薬品利用促進事業、④COPD（慢性閉塞性肺疾患）早期発見啓発事業、⑤骨粗しょう症治療中断者受診勧奨事業				

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		
				目標	実績	目標	実績	目標	実績	
1	健康寿命（男性/女性） ＝平均自立期間	歳	目標	79.2	83.0	79.4	83.2	79.5	83.3	
				実績	79.5	82.6	79.4	83.3		
				達成率	100%	100%	100%	100%		
2	1人当たり医療費の減少額 （月額）	円	目標	24,439		23,217		22,056		
				実績	24,129		26,493			
				達成率	99%		114%			


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		11,491	12,633	16,888	
財源内訳	一般財源	0	0	0	
	国都支出金	9,915	11,145	15,157	
	その他	1,576	1,488	1,731	
会計年度任用職員以外の職員（千円）		16,313	12,124	9,171	
人件費	所要人員（人）	2.01	1.52	1.20	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		27,804	24,757	26,059	

視点別の分析	内容	評価		
		必要である	見直しの余地がある	非該当
妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
<p>【実施した個別の保健事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●健診異常値受診勧奨事業 勧奨通知送付数：60件/保健指導実施者：7人 ●生活習慣病治療中断者受診勧奨事業 勧奨通知送付数：59件/保健指導実施者：12人 ●糖尿病性腎症重症化予防・受診行動適正化事業 勧奨通知送付数：145件/保健指導実施者：9人 ●ジェネリック医薬品利用促進事業 通知件数：1,401件（4回発送） ●COPD（慢性閉塞性肺疾患）早期発見啓発事業 勧奨通知送付数：245件 ●受診行動適正化保健指導事業 通知送付数：60件/保健指導実施者：3人 	<p>委託事業者を活用して実施しているが、個別の保健事業における保健指導等において参加者をフォローするには、本市の資源を活用できる市職員（専門職）の関与が重要であるため、専門職の確保が急務である。また、各事業の計画、対象者の抽出、事業の実施・進行管理、事業の効果分析等、専門の知識を必要とし、現在、担当者1名で遂行しているが、国や東京都からの要求が年々増えており適正な事業実施のために毎月40時間以上の時間外勤務が発生している。</p>

令和4年度の方針																						
<p>【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了</p> <p>国民健康保険データヘルス計画に掲げる「健康寿命の延伸」及び「医療費の適正化」の達成のため、健康課題に対応した個別の保健事業を実施し、生活習慣病の重症化等を予防することにより、将来的な医療費の適正化を図るものである。本事業は国民健康保険制度の安定的な財政運営を持続させるためにも重要である。</p> <p>また、保健事業の推進に当たっては、PDCAサイクルを用いることで本市の実情に合わせた既存事業の拡充や新規事業の実施を図るなど、将来を見据えた事業推進により目標達成するよう努めている。具体的には、個別の保健事業について、毎年度、4つの評価指標を用いて計画、実施、評価を行っており、東京都や国民健康保険団体連合会等の第三者による事業評価も活用しながら、効果的かつ効率的に事業が実施できるよう努めている。</p> <p>令和4年度は一部の事業を拡充しつつ、引き続き、被保険者に寄り添った事業が実施できるよう取り組んでいく。また、令和5年度にはデータヘルス計画の最終年度を迎えることから、次期計画の策定に向けて分析評価を進めるとともに、庁内外の関係機関との連携を更に強化していきたい。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table> <p>（廃止・休止・終了の場合は記入不要）</p>			今後の方針			コスト			成果	向上			○	維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	特定健康診査未受診者受診勧奨事業				
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度				
	所管部署	市民部	保険年金課	医療費適正化係	内線	138
	根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律第20条				
	目的	国民健康保険被保険者が自らの健康リスクを把握し、生活習慣病の発症及び重症化を予防する契機となる特定健康診査の受診者の受診率を向上させるため、受診勧奨を実施し、受診率の向上を図ることを目的とする。			SDGsの取組	
内容	効果的に受診へと導くために、人工知能やナッジ理論を用いた通知による受診勧奨を実施する。また、医療機関や保険薬局、スーパーマーケット等へのポスター掲示や大型商業施設へのデジタルサイネージ広報、保健師による電話勧奨などの効果的な取組等を積み重ねて周知を図る。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	特定健康診査受診率	%
			実績	48.6	50.8	
			達成率	89%	90%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費(千円)	3,961	5,079	5,217
財源内訳			
一般財源	0	0	0
国都支出金	3,961	5,079	5,217
その他	0	0	0
人件費			
会計年度任用職員以外の職員(千円)	1,543	1,596	1,835
所要人員(人)	0.19	0.20	0.24
会計年度任用職員(千円)	0	0	0
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)	5,504	6,675	7,052

市民・議会等から寄せられた意見	
—	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か					
		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		市民のニーズに適合しているか					
		<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		市民との協働により事業を実施しているか					
		<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響					
		<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
		受益者負担は適切か					
		<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		施策への貢献度は適切か					
		<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	効率性	民間委託等は可能か					
		<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		事業費の更なる削減は可能か					
		<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		類似事業等との統合は可能か					
		<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
<ul style="list-style-type: none"> ●受診勧奨通知【1回目】令和3年5月19日 7,965件 【2回目】令和3年9月9日 5,259件 勧奨通知後の受診者(人数) 2,265人(29.2%) ●はがきによる受診勧奨：令和3年7月9日 初回健診である40歳：146件 受診率の低い残堀地区の60歳～63歳：54件 通知後の受診者(件数)：59件(29.5%) ●電話による勧奨：令和3年10月6日から10月11日まで100件架電 架電後の受診者(件数)：29件(29%) ●その他、医療機関、保険薬局、公共施設へのポスター掲示、大型商業施設でのデジタルサイネージ、自治会回覧板、SNS等を活用して周知に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●健康寿命延伸の大きな阻害要因に生活習慣病がある。その生活習慣病の予防、早期発見、重症化予防の入口であり要である特定健康診査の受診率が伸び悩み、目標値を達成できない状況が続いている。 ●地域により、受診者の偏りがある。 ●未経験者(一度も受診したことがない者)と不定期受診者等の健康無関心層への行動変容を促す「コール・リコール」に取り組んでいるが、全員が行動変容するに至っていない。

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
<p>特定健康診査の受診者と未受診者を比較すると、未受診者の方が医療費が高い。生活習慣病の医療費で比較しても、未受診者の医療費は高く、特に入院医療費が高いことから、生活習慣病が重症化してから受診するためと推測される。</p> <p>また、健診受診者においても受診勧奨に該当する者の医療機関非受診率が都平均より64%高く、生活習慣病の早期発見・早期治療に結び付いていない現状があるため、受診率の向上は急務である。</p> <p>委託事業者による人工知能やナッジ理論を活用した効果的な通知に加え、令和3年度に実施し効果のあった不定期受診者と健診未経験者の「コール・リコール」を継続する。</p> <p>市では、特に受診率の低い地域や年代へのはがき等による勧奨、ポスター掲示、自治会への回覧板、大型商業施設へのデジタルサイネージ、SNS発信、保健師による電話勧奨、健康づくり相談会での受診勧奨も引き続き継続して取り組んでいく。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	人間ドック等助成事業（国民健康保険）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度		
	所管部署	市民部	保険年金課	医療費適正化係 内線 138
	根拠法令等	武蔵村山市国民健康保険・後期高齢者医療保険人間ドック等受診料助成金交付要綱		
	目的	国民健康保険被保険者及び後期高齢者医療被保険者が人間ドック又は脳ドックを受診した場合に、その費用の一部を助成することにより、疾病の早期発見及び予防に寄与し、健康の保持増進を図ることを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を
内容	①日本人間ドック学会の1日ドック基本検査項目表の必須項目全て含む場合 2万円 ②特定健康診査の実施に関する基第1条第1項第1号から第9号までに規定する項目を全て含む場合 1万円 ③脳ドック受診 2万円			
対象（交付先）	国民健康保険被保険者（40歳以上を対象）			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	特定健康診査の受診率向上につながった受診者数（平成29年度比）の割合	%
			実績	▲17.8	7	
			達成率	-119%	41%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	-
			達成率	-	-	-

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額（千円）	2,706	3,360	5,000		市民から助成要件等が分かりにくいとの意見があった。
一般財源	2,706	3,360	5,000		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況 ●人間ドック助成：14自治体実施 ●脳ドック助成：9自治体実施 ●婦人科ドック助成：1自治体実施 (いずれも令和2年度現在、26市中、本市除く)
所要人員（人）	0.00	0.00	0.03		
会計年度任用職員（千円）	541	390	416		
所要人員（人）	0.42	0.29	0.29		
合計（補助金+人件費）	3,247	3,750	5,646		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
総額（千円）	0	0	0		交付金額（千円） 3,360
市補助金	-	-	-		使途内訳
会費	-	-	-		
繰越金	-	-	-		
事業収入	-	-	-		
その他	-	-	-		
支出	総額（千円）				割合（%）
交際費、飲食費	-	-	-		団体収入に占める補助金の割合
人件費	-	-	-		—
事業経費	-	-	-		団体収入に占める繰越金の割合
その他	-	-	-		—
					交付金額に対する繰越金の割合
					—

視点別の分析	内容	評価			
		必要である	見直しの余地がある	非該当	
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	

令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
●人間ドック助成 175件：3,180,000円 (内訳：2万円助成143件、1万円助成32件) ●脳ドック助成 9件：180,000円 (内訳：2万円助成9件)	●助成要件の項目が53項目と多く、1項目でも欠けると助成金額が減額されることから、市民にとって分かりにくいものとなっており、改善を求める声もある。 ●既に疾病があり、検査ができない項目があった場合でも、助成要件の欠損として助成金額が減額される。 ●実施医療機関によって使用する結果表の様式が異なり、検査を実施していても結果表に記載されないケースがあるため、実施医療機関への電話等による確認が必要である。

令和4年度の方針																				
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																			
疾病の早期発見及び予防に寄与し、健康を保持増進する事業としては有効であるため、令和4年度も引き続き助成を実施する。 しかしながら、被保険者からは助成要件が分かりにくい、助成申請時には助成金額がわからない等の意見が多く寄せられているのも現状である。本助成事業の実施に当たっては、市医師会の強い要望により助成要件を定めているため、その変更について了承が得られず要綱改正等には至っていない。 一方、本助成により特定健康診査を実施したとみなすため、その受診率の向上にも寄与していることから、引き続き助成は継続しつつ、助成要件の変更について医師会に働きかけるとともに、被保険者に受け入れやすい制度となるよう検討していきたい。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持		○		低下				
今後の方針		コスト																		
成果	向上	削減	維持	増加																
		維持		○																
低下																				
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																				

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	人間ドック等助成事業（後期高齢者医療）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度		
	所管部署	市民部	保険年金課	後期・年金係 内線 135
	根拠法令等	武蔵村山市国民健康保険・後期高齢者医療保険人間ドック等受診料助成金交付要綱		
	目的	後期高齢者医療被保険者に対して、人間ドック又は脳ドックの受診費用の一部を助成することにより、疾病の早期発見及び予防に寄与し健康の保持増進を図ることを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を
内容	①日本人間ドック学会の1日ドック基本検査項目の必須項目全てを含む場合 2万円 ②特定健康診査の実施に関する基準第1条第1号から第9号までに規定する項目が全て含まれている人間ドック 1万円 ③脳ドック受診 2万円			
対象（交付先）	後期高齢者医療被保険者			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	受診者数	人
			実績	39	52	
			達成率	78%	104%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	-
			達成率	-	-	-

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額（千円）	620	920	1,000		市民から助成要件等が分かりにくいとの意見があった。
一般財源	502	776	690		
国都支出金	0	0	0		
その他	118	144	310		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況 26市中14市が実施している（令和3年度現在）。
所要人員（人）	0.00	0.00	0.01		
会計年度任用職員（千円）	541	390	416		
所要人員（人）	0.42	0.29	0.29		
合計（補助金+人件費）	1,161	1,310	1,493		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算			
総額（千円）	0	0	0	0	交付金額（千円）	920
市補助金	-	-	-	-	使途内訳	
会費	-	-	-	-		
繰越金	-	-	-	-		
事業収入	-	-	-	-		
その他	-	-	-	-		
支出	総額（千円）				割合（%）	
交際費、飲食費	-	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合	—
人件費	-	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合	—
事業経費	-	-	-	-	交付金額に対する繰越金の割合	—
その他	-	-	-	-		

視点別の分析	公	益	性	令和3年度の実績			
				必要である	見直しの余地がある	非該当	
市の関与は必要か				<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
市民のニーズに適合しているか				<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
一般市民にも間接的な受益があるか				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
有効補助基準は明確か				<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
補助金の交付により期待された効果が得られたか				<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
補助内容や補助額の見直しは可能か				<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
補助期間を設定しているか				<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
類似の補助金との統合は可能か				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> ●人間ドック助成 39件：660,000円 （内訳：1万円助成12人、2万円助成27人） ●脳ドック助成 13件：260,000円 （内訳：2万円助成13人） 	<ul style="list-style-type: none"> ●助成要件の項目が53項目と多く、1項目でも欠けると助成額が減額されることから、市民にとって分かりにくいものとなり、改善を求める声もある。 ●既に疾患があり、検査ができない項目があった場合でも、助成要件の欠損として助成金額が減額される。 ●実施医療機関によって使用する結果表の様式が異なり、検査を実施していても結果表に記載されないケースがあるため、実施医療機関への電話等による確認が必要である。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
<p>難病の早期発見及び予防に寄与し、健康を保持増進する事業としては有効であるため、令和4年度も引き続き助成を実施する。</p> <p>しかしながら、被保険者からは助成要件が分かりにくい、助成申請時には助成金額が分からない等の意見が多く寄せられているのも現状である。本助成事業の実施に当たっては、市医師会の強い要望により助成要件を定めているため、その変更について了承が得られず要綱改正等には至っていない。</p> <p>引き続き助成は継続しつつ、助成要件の変更について医師会に働きかけるとともに、被保険者に受け入れやすい制度となるよう検討していきたい。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>			今後の方針			コスト			成果	向上		○		維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
（廃止・休止・終了の場合は記入不要）																						

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	レセプト自動点検事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第1節 健康・医療 3 社会保障制度		
	所管部署	市民部	保険年金課	医療費適正化係 内線 138
	根拠法令等	「国民健康保険の診療報酬明細書点検事務調査事務処理要領について」（昭55.5.10保険発第42号）		
	目的	診療報酬明細書等（以下「レセプト」という。）の点検業務を実施することにより適正な療養給付費の支出を維持するとともに、医療費の適正化及び国民健康保険事業の健全化を図ることを目的とする。	SDGsの取組 10 人や国の不平等をなくそう	
内容	レセプトの点検業務について、職務経験や専門知識の有無にかかわらず実施可能となる人工知能（AI）を搭載したレセプト自動点検システム及びRPAツールを利用し、業務精度の向上及び効率的な点検を実施する。			



評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	財政効果額	円	目標	1,192	1,368	1,760
				実績	1,592	1,786	
達成率				134%	131%		
2	-	-	目標	-	-	-	
			実績	-	-		
			達成率	-	-		

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算			
事業費（千円）	678	449	1,428			
財源内訳						
一般財源	678	449	1,428			
国都支出金	0	0	0			
その他	0	0	0			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員（千円）	2,192	2,234	1,070			
所要人員（人）	0.27	0.28	0.14			
会計年度任用職員（千円）	374	390	416			
所要人員（人）	0.29	0.29	0.29			
合計（事業費+人件費）	3,244	3,073	2,914			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

令和3年度の実績		事務事業の推進に当たっての課題	
【点検件数】	246,764件 月平均20,564件	限られた人員の中で効果的かつ効率的に点検するために、令和2年度よりAI及びRPAを活用した自動点検システムを導入したものである。導入により短時間で効果的な点検業務ができ、費用についても抑えられていることから現時点での課題はない。 導入から2年と経過年数が浅いため、引き続き事業評価を継続し、更に効果的な事業推進ができるよう検討していく。	
【費用(税込)】	1件当たり：0.88円 RPA使用料(年間)：231,000円		

令和4年度の方針				
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	
今後の方針	医療機関からの診療報酬（医療費）の請求はレセプトにより行われ、審査委員会の審査を経て、支払いの根拠として保険者に送付される。診療報酬等支払いの適正化を図るためには、レセプトの点検及び確認が保険者としての責務である。 しかしながら、レセプトの点検は専門的な知識を要することから、職員が行うのは困難であり、従来からその業務を委託し、点検員の目視による点検を実施してきたところである。目視では一度に点検できる件数に限界があることから、令和2年度より、AI及びRPAを活用した自動点検システムを利用することによって、職務経験や専門知識の有無にかかわらず点検業務が実施可能となった。一サイクルに要する業務時間は従来の約1か月から2日程度に短縮され、費用も3分の1程度となり、短時間で効果的な点検業務の実施が可能となった。 令和4年度も引き続き当該システムによる点検を実施し、医療費の適正化を図る。			
	コスト	削減	維持	増加
	成果	向上	維持	低下

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)